

夏の自然体験教室「誰も知らない？！ダンゴムシのきもち」実施報告

実施日時：2019年6月1日（土）9：30～14：30

場 所：広島県広島市南区 元宇品

講 師：菊間 馨 氏（広島県自然体験活動アドバイザー）

参 加 者：12家族 29名（大人：15名、子ども：14名）

天 候：晴れ

内 容：最も身近な生き物であるダンゴムシがどんなところに好んで暮らしているのか、何を食べているのかなどを調査したり、迷路実験を通して、ダンゴムシの生態について学んだ。

日 程：9:15～ 集合・受付

9:30～ オリエンテーション、アイスブレイク

10:10～ ダンゴムシ調査

11:00～ 調査結果まとめ

12:10～ 昼休憩、ダンゴムシレース

12:50～ 迷路作り

13:40～ 迷路実験

14:00～ ふりかえりと分かち合い、まとめ

14:20～ アンケート記入、解散

【実施風景】



開会挨拶

ダンゴムシのイベントを初企画！
身近過ぎて集まらないかな？と思いま
したが、定員以上の方にご応募いただき
ました。山崎レンジャーの挨拶では元宇
品が日本を代表する国立公園であるこ
とが紹介されました。



アイスブレイク

今日の目的や日程を共有した後はゲー
ムを行いました。今回のテーマは「ダン
ゴムシのきもち」！夜行性のダンゴムシ
を体験するべく、目隠しをしてダンゴム
シ役と天敵のカエル役になってどうや
って逃げるのか？捕まえるのか？を体
験してもらいました。じつとしていた1
匹のダンゴムシは最後までカエルに見
つかりませんでした。



ダンゴムシ調査開始

町エリア、谷エリア、森エリアでダンゴムシが好む場所はどこか予想してみたところ、町く谷く森の順に多く、涼しくて落ち葉の豊富な森が一番住みやすいに違いない！という予想でした。



ダンゴムシ探し（町エリア）

「いるいる！」舗装された町中でも、隅にある石の下や側溝など、ダンゴムシが好きな居場所を子どもたちはよく知っています。



ダンゴムシ探し（谷エリア）

ダンゴムシ探し？いえいえ、見つけたクサイチゴをつまみ食い。これもこの時期の楽しみですね♪
谷エリアは落ち葉の下に多く隠っていました。



ダンゴムシ探し（森エリア）

いよいよ皆の予想では一番多かった森エリアへ！ところが、「あれ？全然ないな…」落ち葉はあるのにダンゴムシがない！
道の右側は国立公園、左側は公園外。巨木が多く残る元宇宙品の自然も体感できました。



調査結果まとめ

皆の予想を見事に裏切って、町：156匹>谷：129匹>森：10匹という結果に。ダンゴムシ（※ここではオカダンゴムシを指します。）は乾燥に強い都会派で、森にはワラジムシが多いことが判りました。



捕食実験

捕食される様子を見てみよう！ということで1週間絶食させたトノサマガエルを準備しましたが、これだけ囲まれたらさすがに警戒して食べませんでした…笑。



ダンゴムシは何がお好き？

落ち葉を食べるイメージのダンゴムシですが、小松菜・鰹節・ゴマでは鰹節もお好きなよう。動物性も食べる雑食性ということが判りました。お尻から水を飲む様子も見たかったですが、断水期間が短かったようで観察できず。



ゴマを食べるダンゴムシ

大人気！というわけではないですが、小さなゴマを抱えて食べる姿にかわいい～！という声も。ゴマを抱えて持ち逃げするダンゴムシもいました。



ファーブルで観察

身近な生き物でもファーブル（顕微鏡）で観察すると、また違ったものが見えてきます。



赤ちゃんを生むダンゴムシ

今が繁殖期のダンゴムシ。ちょうどお腹から赤ちゃんダンゴムシが出てくる瞬間に出くわしました！小さくても生まれた時から形はダンゴムシ！



ダンゴムシレース

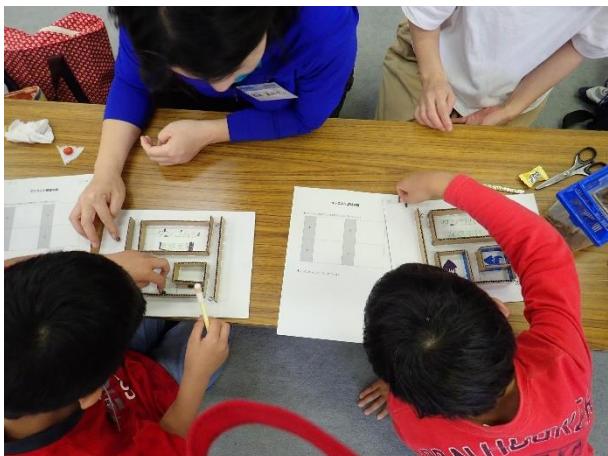
お昼休憩中も手持ちのご飯をダンゴムシにあげて何を食べるのか実験したり、ダンゴムシレースを行ったりとダンゴムシ三昧。

最初は円から誰が早く出るか競争でしたが、斜めにして早く上る競争にしたりと、やっぱり子どもは遊びの天才です。



迷路作り

午後はいよいよメインの迷路実験です。地面でどのように動いているのか？実験前に皆で予想！①左に沿って歩く②右に沿って歩く④交互に歩くなどの意見が出ました。③は理由が見当たらないからか人気なし。



迷路実験

実験後集計してみると、①21 ②1 ③26 ④71 という結果に。天敵などから一番遠くに逃げるために交互に歩く「交替性転向反応」という習性がありますが、100%じゃないという結果に答えを知っていた子には新しい発見だったようです。



ダンゴムシの試食

ダンゴムシ愛が深かったところで、最後はダンゴムシ（事前に泥抜き済）を炒って食べてみました。最初はえーっ！という反応でしたが、皆興味津々。「エビカニの仲間だから勿論食べられるよ」という先生の言葉に恐る恐るながらも殆どの参加者が実食！



ふりかえりと分かち合い

最後に一言ずつ感想を言ってもらいました。「迷路実験が面白かった」「ダンゴムシが食べられることにビックリ」「もっとダンゴムシのことが知りたくなった」など、一人一人違った発見があったようです。



集合写真

知っていそうで知らないダンゴムシのきもちに少しばかり気付いたでしょうか？！身近にいる生き物こそ、なぜここにいるのか？何を食べて生きているのか？など疑問を持って観察してみると発見があります。家に帰ってからも、是非身近な生き物に目を向けていただければと思います。

ご参加ありがとうございました！